

II. 夜間景観に関するルール

“訪れたくなる風景” “散策する楽しさ” “住まう誇り” につながる「長門湯本らしい夜間景観」のために以下の6つの項目に対して守るべき目標を設定します。

- ①あかりの色（色温度）・・・・・・・・温泉地らしさのために
- ②あかりの点灯時間・・・・・・・・安全安心を強化
- ③豊かな緑を活かすルール・・・・・・・・誰もが感じる美しさ心地よさと安心感
- ④まちの顔づくり・・・・・・・・長門湯本だとひとめでわかる夜景をつくる
- ⑤まちのシンボルや特徴を活かす・・・町全体をミュージアムへ
- ⑥サイン/看板の照明・・・・・・上質な観光地にふさわしいデザインへ

1. あかりの色

まちのあかりの色は、電球色にしましょう。

- ・黄色く、暖かみのある光の色を“電球色”と呼びます。
- ・温泉街や住宅地では、寒々しい白色の光よりも、情緒的で落ち着きのある電球色が似合います。
- ・蛍光灯にもLED電球にも電球色があります、



← 右が電球色

「電球色」「2700K~3000K」と書いてあります。



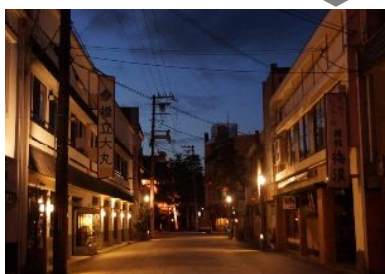
×白色のさびしい旅館街



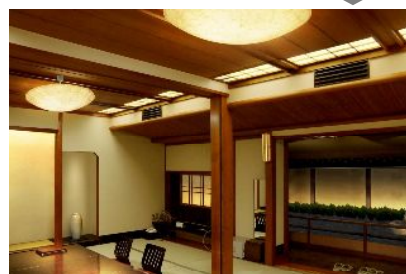
×白色の旅館宴会場



×白い防犯灯が目立つ住宅街



○電球色のおちついた旅館街



○電球色の上質感のある旅館宴会場



○電球色のあたたかな住宅街

2. あかりの点灯時間

門灯や軒先の提灯などの外部の明かりや、道に面した窓際やお店のあかりは22時まで点灯しましょう。

- ・夜のそぞろ歩きが楽しく、暗がりのない安全安心な街並みをつくりましょう。
 - ・タイマーを付ければ、自動で点灯・消灯をすることも可能になります。
- また光源がLEDであれば、点灯時間を長くしても電気代は僅かにしかかかりません。
(7WのLED電球1つあたり、5時間点灯で ひと月あたり28円程度です。)



× 街灯、建物の漏れ光もなく歩行に不安のある道



○建物の漏れ光や軒先の提灯が点いており安心感と情緒のある通り(天橋立)



○建物2階の灯りは、閉店後も点灯している(倉敷)

3. 豊かな緑を活かすルール

道や広場に面した樹木は、できるだけライトアップしましょう。

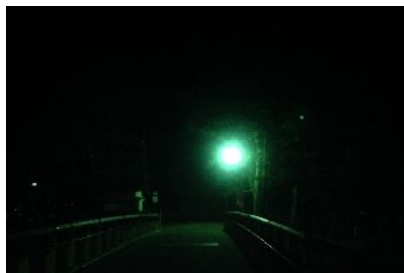
- ・昼間は癒しを与えてくれる樹木ですが、夜になると影になり暗がりをつくってしまいます。道や広場から見える庭木をライトアップすることで、安心感と心地よさをまちにもたらしめます。
- ・参道や散策路など民間敷地の緑がまちの景観をつくっている場合も多いので、わずかでも樹木のライトアップができれば、大きな安心感のある貴重なまちの風景となります。
- ・ライトアップも、暖かみのある電球色のあかりで行いましょう。



×樹木が暗がりをつくっている



○ライトアップで樹木が主役になった旅館の中庭



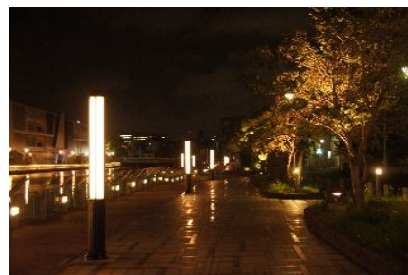
×松林があるが、真っ暗で何も見えない



○立派な松がライトアップされ見えるようになり、夜の散策ができるようになった。



×街灯があるが、樹木が影になっており暗いプロムナード



○樹木がライトアップされ、安心感のある歩いて楽しいプロムナード

4. まちの顔づくり

軒先に長門湯本温泉オリジナルデザインの提灯をつけましょう。

- ・共通のデザインの提灯を街中の軒先につけることで、「ひとめで長門湯本だとわかる風景」「ここでしか見れない街並み」をつくることができます。
- ・長門湯本温泉のオリジナルデザインの提灯を掲げ、情緒的な温泉街の夜景づくりを行いましょう。



○通り毎に異なる、オリジナル提灯が情緒的な雰囲気をつくる。



○軒先にオリジナル提灯をつけたイメージ、オリジナル提灯デザイン案



5. まちのシンボルや特徴を活かす

まちのシンボルをライトアップしましょう。

- ・大寧寺や住吉神社のような由緒ある寺社仏閣、三ノ瀬の登り窯、街の中に多く見られる石垣や橋などは長門湯本温泉ならではの大切な景観資源です。また、足湯・源泉などの施設、旧恩湯のネオンなども、新たにつくられる恩湯施設などのランドマークとともに、まちの物語を語るシンボルです。これらのシンボルの演出やランドマークのライトアップによって、今まで以上にまちの記憶を大切にしたい・住みたい長門湯本に育てていきましょう。



× 暗闇で何があるか夜間にはわからなくなっている



○ 住吉神社の階段のライトアップ



○ お地蔵様のこみち(大寧寺参道)のライトアップイメージ



○ 石垣のライトアップイメージ

6. サイン・看板の照明

下記のような看板は、温泉地や住宅地に相応しくないので、できれば改善しましょう。

○眩しすぎる ○派手な色彩 ○速い速度で動く・点滅する ○大きな音がでる

- ・白すぎる内照式の看板は、落ち着いた温泉地には似合いません。既存の看板がある場合は眩しさが夜間景観阻害の原因となる場合もあるので、買い替えなどのタイミングで電球色に変えましょう。
- ・切文字（箱文字）型のバックライト文字や、外から照らす板状の看板は、上質な印象や和風のまちなみをつくれます。
- ・提灯や行灯のような和風のものは、内照式でも情緒があるため、推奨されます。



○ 切り文字の看板



○ 外照式の看板、提灯の看板



○ 行灯の看板



× 派手な内照式看板・原色のネオン



× 眩しく、派手な色、速い動き、大きな音の出る看板（デジタルサイネージ）



× 派手な色、速い動きのある看板